

アクロス・ミュージアムコンサート in 九州国立博物館

アクロス・ミュージアムコンサートは、アートと音楽を同時に楽しめるオリジナルコンサート。
特別展「アール・ヌーヴォーのガラス ガレとドームの自然賛歌」に沿った選曲でお送りします。

【公演日】 2023年6月3日(土) 1回目 13:30～14:00 2回目 15:00～15:30

【会場】 九州国立博物館1階エントランス **ミュージアムホール**

【入場料】 無料(事前申し込み不要)

【出演】 ハンブルクトリオ

ヴァイオリン:塩貝みつる

(元 ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団 アソシエイトコンサートミストレス)

チェロ:ウルリッヒ・ホルン(フランクフルト放送交響楽団)

ピアノ:エバーハルト・ハーゼンフラッツ



【曲目】 シューベルト:ピアノ三重奏曲「ノットウルノ」変ホ長調 op.148, D.897

ベートーヴェン:ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」 op.11

成田為三:浜辺の歌

瀧 廉太郎:荒城の月 ほか

ハンブルクトリオ Hamburg Trio

2013年10月、ブラームスのピアノ三重奏曲の共演をきっかけにハンブルクで結成。この演奏はインターネットでライブ中継された。その後、ハンブルクを拠点にベルリン、カッセル、マインツなどドイツ各地で活動。新聞などで高い評価を受け、ZDF(ドイツ国営第二放送)、NDR(北ドイツ放送)に出演。毎年作曲家ごとのピアノ三重奏曲全曲を録音し、世界各地でコンサートを行うことをコンセプトに活動している(2015年ブラームス、2016-17年シューマン、2018年メンデルスゾーン)。2018年1月にはベルリンとハンブルクでベートーヴェンのトリプルコンチェルトを演奏し話題となった。その他、サンクトペテルブルクのフィルハーモニアホール、リュブリャナ音楽祭、ウーゼドム音楽祭に招待されている。

日本では2015年に「ブラームス ピアノ三重奏曲全曲演奏会」を開催し、NHK FM「ベスト オブ クラシック」で放送された。またNHK AM「すっぴん！」に出演、生演奏を披露し反響をよんだ。2017年の2度目の来日では「シューマン ピアノ三重奏曲全曲演奏会+四重奏曲&五重奏曲」を開催した。

これまでにそれぞれブラームス、シューマン、メンデルスゾーンのピアノ三重奏曲全曲を収録した「BRAHMSIADÉ」、「SCHUMANNIA」、「Live in St. Petersburg~Mendelssohn Piano Trios」をリリース。2023年、ドイツ・レーベルGENUINから「Verklärte Nacht(浄夜)」をリリース。

塩貝みつる(ヴァイオリン) Mitsuru Shiogai, Violin

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマ修了。原田幸一郎、篠崎史紀、堀正文の各氏に師事。2004年～2016年ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、並びにハンブルク国立歌劇場の首席アソシエイト・コンサートミストレス。NDRエルプフィル、シュトゥッツガルト放送響、バイエルン歌劇場などで客演する。ソリストとしてもウィーン交響楽団、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団などと協演している。2015年元日に、バッハのソナタがドイツの主要ラジオ局で生放送された。現在は国内に拠点を移し、ゲストコンサートミストレスやソリスト、室内楽奏者として日本と欧州で活躍している。2022年 東京・春・音楽祭、オーストリア・シュタイヤー音楽祭などで、ブラームスのヴァイオリン・ソナタを全曲演奏し、好評を博した。2011年より、「子ども楽器プロジェクト」を主宰。東日本大震災の被災地を音楽で支援し、ドイツとの文化交流を図る活動を行っている。

ウルリッヒ・ホルン(チェロ) Ulrich Horn, Cello

フランクフルト放送交響楽団チェリスト(2001年～)。ピーター・フォーグラ、ルートヴィヒ・クヴァント、ゲオルク・ファウストの各氏に師事。ボリス・ペルガメンシコフ、バーナード・グリーンハウス、ダヴィド・ゲリンガス、ゲルハルト・シュルツの各氏のマスタークラスで研鑽を積む。これまでにアバド、ラトル、マゼール、バレンボイムなどの名指揮者と、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団で共演。バイエルン国立管弦楽団、シドニー交響楽団、ザールブリュッケン・カイザーラウテルン・ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団等でゲスト・ソロ首席奏者を務める。2013年よりバイロイト祝祭管弦楽団のメンバーとして、バイロイト音楽祭に出演。ソリストとして、ライブツィヒ放送交響楽団などのオーケストラや、シュレーズヴィヒ・ホルスタイン音楽祭など出演。世界各地で定期的にマスタークラスを開催している。2011年、ナクソスから『レーガー:無伴奏チェロ組曲』をリリース。

エバーハルト・ハーゼンフラッツ(ピアノ) Eberhard Hasenfratz, Piano

ドイツ生まれ。国内外の数々のコンクールに入賞。アルフォンス・コンタルスキー、セルジュ・コロ、マーティン・ロヴェット、ヘンリー・マイヤー(ラサール四重奏団)、ノーマン・シェトラの各氏による数々の国際マスターコースで助手を務める。現在はベルリン芸術大学にて教鞭を執りながら室内楽奏者としても活躍している。2006年よりハンブルク近郊の「室内楽の友、クイックボーン」コンサートシリーズのディレクター、2010年よりハンブルクの教会の教会音楽家に就任し、2011年には同教会での室内楽シリーズ「ブランケネーザー・コンチェルテ」を開始した。